



『水煙会セミナー』の開設 (後進の育成支援の一環として)

水煙会・会長 長崎 駿二郎

ようやく錦秋の候となりました。

「暑さ寒さも彼岸まで」という詞がありますが、今年の夏は本当に彼岸ぎりぎりまで夏日が続き、このまま涼しい日が来ないのではないかと心配する程でした。その上、ロシア、韓国に続き中国までも本来、領土問題が存在していないはずなのに「寝た子を起こして大騒ぎ」し、誠に熱く喧しい夏であったと感じております。

その上南海トラフによる大震災が発生した場合、死者 32 万人、全倒壊家屋 238 万棟という、誠にショッキングな予測が出され、「自助・共助（互助）・公助」という防災用語が皆の口の端に乗るようになりました。基本的には国でも個人でも同じですが、人命や財産等を守るには何はともあれ、まずは「自助が一番」と言われています。「天は自ら助けるものを助く」という言葉がありますが、「備えあれば憂いなし」という諺もある通りどんな問題に対しても、まずは、自らできる自衛策を行うことが第一原則なのでしょう。

さて、この点で我が水煙会を見ますと、「人」「物」「金」の資本の三要素はどれも準備不足で、とても「自助の体制」は万全とは言えず、かなり可及的速やかに「自助努力」をしなければいけない状態と言えます。とは言え、一気呵成に準備万端になる様な魔法の手があるわけではないので、まずは一人でも多くの会員諸氏に、水煙会の今の状況を知って戴くと共に、会の存在や活動にご理解を戴く地道な努力の積み重ねをして行くしかないと考えております。

特に、今は大学の組織改編はじめ何が起きるか判らない誠に不透明な時代です。その中で「自助は何にか？」と言う事になりますが、当に「水煙会の将来を担って戴く若い方々、学生会員諸氏に水煙会の存在意義を感じて貰うように努力をする事」ではないかと考えております。同窓会活動の意義は会則にもありますが、その中の「後進の育成支援」に力点を置く事が、結果、当会の「自助努力」になると考え、その具体策として本年度から【水煙会セミナー】を開催する事と致しました。

水煙会の会員には、社会的に素晴らしい活躍をされていられる方が、大勢いらっしゃいますので、「まずは在校生諸氏に見て聞いて知って戴こう」と言う処から始める事とします。来る11月9日（金）午後4時30分より、横浜国大常盤台キャンパス中央図書館・メディアホールにて、「水煙会セミナー」を開催いたします。既にご案内の通り東北大学で教鞭をとられ、現在も日本学術会議のメンバーである、吉野博先生[昭和46年横国大建築卒]にご講演して戴く事としております。

（なお、初回は大学や煙洲会と共同開催で工藤和美東洋大教授にご講演を戴きました）

とは言え知名度の高い方々だけにこの会を盛り上げて戴ければ良いわけではなく、是非このセミナーの席上に多くの諸先輩がご参加戴いて、貴重な経験を披露して戴いたり、若い方々の悩みを聞いて上げたりしながら、卒業生と在校生の交流を深め、建築に携わる者同士の絆が強くなる事こそ重要と考えております。このような趣旨で開催する「水煙会セミナー」ですので、是非多くの会員の皆様にご参加頂けますようお願い申し上げます。

平成 24

年 10 月 17 日